

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4071102133
法人名	(有) ケイユーカンパニー
事業所名	グループホーム ソレイユ
所在地	福岡市南区老司1丁目11-11 (電話) 092-565-8436

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成19年7月5日	評価確定日	平成19年8月31日

【情報提供票より】 (平成19年6月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算 17人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3階建ての ~ 1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,333 円	その他の経費(月額)	70,000 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	0 円	昼食	0 円
	夕食	0 円	おやつ	0 円
	または1日当たり	1,500 円		

(4) 利用者の概要 (平成19年6月20日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	72 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西岡病院 中尾診療所
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

商業地域の中にある事業所は、車の往来が激しい立地環境にもかかわらず、事業所内は静かで、2階では心地よい軽音楽が流れる等、穏やかな時間が流れている。事業所名はフランス語で「太陽」もしくは「ひまわり」と訳され、運営理念の「信頼」や「敬愛」の象徴となっており、職員は入居を機に結ばれた縁を大切に思い、利用者一人ひとりへの関わり方を日々研鑽している。また、母体である病院との医療連携が密なため、利用者及び家族にとって安心感がある事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての外部評価である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で協議し、自己評価に取り組んでいる。改めてサービスの質の向上の大切さを認識し、評価の意義と理解を日々のケアに活用している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	定期的に運営推進会議を開催している。会議では、経過報告、利用者の現状、行事について報告し、家族からの意見や要望を記録し、そこでの意見をサービス向上に活かしている。散歩の見守りを強化し、また食事内容を見直す等、改善に努めている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	家族の来訪時には積極的に苦情や要望を聞き、それぞれの内容によって業務、行事、記録、リスクの4部門に分け、担当する部門別に検討し、改善に取り組んでいる。また、苦情窓口について、第三者窓口についても明示している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、廃品回収等の地域行事に参加している。また、地元学生のボランティアを受け入れる等、地元の人々と交流することに努めている。

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えているサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員で話し合い、事業所独自の理念を「信頼、敬愛」として精神面を大切にしているが、地域密着型サービスの視点が加わっていない。	○	全職員で協議等を行い、これまでの理念に加えて、地域密着型サービスの視点を加えた理念をつくりあげてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時や月1回の全体会議で理念の確認をし、意識向上に努めている。	○	地域密着型サービスの視点を加えた事業所独自の理念をつくりあげて、それを全職員で共有し、理念の実践に向けて、日々取り組んでほしい。
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、廃品回収等の地域行事に参加している。また、地元学生のボランティアを受け入れる等、地元の人々と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての外部評価である。評価項目をコピーして全職員に配布し、全職員で協議して、自己評価に取り組んでいる。改めてサービスの質の向上の大切さを認識し、評価の意義と理解を日々のケアに活用している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催している。会議では、経過報告、利用者の現状、行事について報告し、家族からの意見や要望を記録している。散歩の見守りを強化し、また食事内容を見直す等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は行政担当者に頻繁に相談して協議を重ね、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度に関する職員への研修は行われていない。	○	全ての職員が必要に応じて家族等に説明ができるように、内部研修等を行い、知識の習得に努めてほしい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、月1回、支出の領収書を送付している。また、併せて事業所での暮らしぶりや健康状態について文書を送付し、家族の来訪時にも伝えている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会はないが、運営推進会議や家族の来訪時に積極的に苦情や要望を聴き、そこでの意見を改善に向けて検討している。また、苦情窓口について、第三者窓口についても明示している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日頃からユニット間で職員の交流があり、利用者や職員が馴染みの関係を築けるように努めている。また、新任職員には主任職員が2週間ほど付いて、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集や採用にあたっては、性別、年齢等を理由に採用対象から排除していない。また、職員が生き生きとして勤務できるよう、資格取得等について配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>日々の業務の中で、管理者は人権について具体的に職員へ個別指導している。また、会議等で人権の尊重について確認している。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修受講後は報告書を作成し他の職員へ伝達研修等を行っている。また、全職員が外部研修に参加しやすいようローテーションを組む等、職員を育てる取り組みを構築している。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同業者との相互訪問の交流があるが、職員についてはこれからである。</p>	○	<p>管理者だけでなく、職員も含めた同業者と交流する機会を持ち、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしてほしい。</p>
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族、本人の事業所訪問や本人の体験入居等で、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族や本人と相談しながら、納得を得てサービスを開始するように努めている。</p>		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と共に、洗濯物をたたんだり、食事の準備や片づけを行い、職員が知らない調理方法等、これまでに利用者が培ってきた生活の技を教えてもらう場面がある。また、博多山笠のことや戦争体験を聞くなど、本人から学んだり、支えあいながら関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや暮らし方についてはアセスメントし、基本情報シートを参考に希望や意向の把握に努めている。食事のメニュー等、要望があればできるだけそえるように努めている。また、思いや意向の把握が困難な場合は、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の意見等を聴き、介護計画に反映している。職員間で意見交換を行い、情報を共有して介護計画を作成している。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3ヶ月毎に、本人、家族、職員等の意見や気づきを反映させて見直している。また、状態の変化時等にも見直しを行っている。家族が了承した押印がある。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>24時間医療連携が可能で、状況に応じて職員が病院への送迎を支援している。また、利用者の入院時には、事業所は利用者を見舞い、家族や医療関係者と相談しながら、早期退院に向けて支援している。</p>		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望するかかりつけ医で受診できるように支援している。また、その医療機関と情報交換を密にし、連携を図るよう努めている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に家族の思いを聴き、同時に事業所として対応できるケアについて説明している。日頃から、かかりつけ医、協力医療機関との連携を図り、終末期に向けた方針について、職員を含め全員で共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対する職員の言葉や対応は適切である。理念の「敬愛」は個人の尊厳を最大限に優先しており、プライバシーの確保に全職員で取り組んでいる。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個性を大切に介護を心がけ、本人のペースや希望にそって支援している。食事、就寝、入浴時間、面会時間など柔軟に対応をしている。趣味の絵、書道、茶道など、いつでもその人らしい暮らしの支援が出来るように努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。誤嚥などの事故防止の観点から、利用者と一緒に食事は摂らず、見守りと介助をしている職員もいるが、食事を楽しむ雰囲気作りに配慮している。		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる支援を行っており、入浴チェック表で入浴状況を確認して、入浴を楽しめるように支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーションの「ぬりえ」や、七夕飾りの短冊を書くなどの楽しみごとの支援をしている。また、プランターで春菊やミニトマトを栽培するなど、張り合いのある生活を支援している。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩をしたり、屋上で外の気浴を楽しんだりしている。週1回は「買い物の日」と決め、定期的に外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵の弊害を理解しており、日中玄関及び居室は施錠していない。玄関にチャイムを設置しているが、それに頼ることなく、外出傾向のある利用者に対しては職員の見守りで対応している。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を実施し、訓練報告書に記録もある。避難経路等については、職員が周知している。年2回、消防設備の点検を消防署等の協力を得て行っている。災害時の備品は準備している。	○	今後はいざという時のために事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加や協力を得ながら、避難訓練等を実施してほしい。また、非常食の準備を行ってほしい。

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作成し、栄養摂取量を記録している。水分摂取量に関するチェック表はないが、補水時間を設け、水分確保に努めている。	○	記録による水分摂取量の把握に努めてほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間で不快な音はなく、2階では軽音楽が流れている。窓にはカーテンや観葉植物を置き、また、七夕飾りがある等、光の強さだけでなく季節感にも配慮している。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の馴染みの物である筆筒、ソファ、いす、テレビ、家族写真、置時計などが持込まれ、家族や本人のレイアウトで整えられており、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

※ は、重点項目。